

1. 産業領域

抹茶製品を核とする茶関連産業領域

2. 対象エリア

生産・加工：南九州市、志布志市、霧島市、曽於市、
鹿児島市等の31市町ほか

加工・流通・販売：南九州市、志布志市、霧島市、曽於市、
鹿児島市等の8市ほか



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

・鹿児島県は、荒茶や抹茶の原料（てん茶）の生産量は全国1位。しかし、県内で生産された荒茶の多くが県外で最終製品に加工・販売されており、本来得られるはずの付加価値を県外に流出させてしまっている。

・欧米をはじめとして抹茶需要が急速に拡大する中、令和6年度の輸出額は、63.4億円となったが、中国やベトナムなどでも抹茶生産が拡大し、国際競争が激化している。

・抹茶には国際的な定義や品質基準がなく、その本来の魅力が事業者や消費者に正しく伝わっていない。

（2）目指すべき目標（R17）

○付加価値創出額：202億円

○官民設備投資額：累計443億円

○産業人材育成数：茶の新規就農者数累計85人

⇒最終的には、生産者の所得向上と後継者確保という好循環を生み出し、茶業全体の持続的な発展につなげる。

4. 勝ち筋

生産から加工、販売までを県内で一貫して行う垂直統合サプライチェーンを構築し、県内で付加価値を創出。

現在、世界の抹茶の基準づくりをリードしている民間団体が、国際的な定義や品質基準の確立に向けて始動している。本県は、同団体と連携し、他国との差別化・プレミアム化を推進。

併せて、海外のハイエンド層など明確なターゲットを定め、戦略的な販売を展開することで、海外市場における持続的な売上拡大を実現。

【生産】

①「かごしま抹茶」の生産拡大や品質向上を目指し、品質基準に基づいて、抹茶の原料である「てん茶」生産に必須である長期被覆など栽培方法の転換を推進。また、有機栽培の取組を促進し、海外の残留農薬基準への対応を強化。

【加工】

②「てん茶」や最終製品である「抹茶」の加工施設を県内に整備し、加工能力の向上を図る。さらに、加工技術の確立により「かごしま抹茶」の品質管理を徹底し、差別化・プレミアム化を促進。

【販売】

③本県からの直接輸出に向けた販売先を開拓。また、諸外国との競争に打ち勝つため、海外バイヤーやハイエンド層などに対して、「かごしま抹茶」の品質と価値（良さ）を正確に伝える。また、「かごしま抹茶」の継続的なブランド構築に努めることで、常に選ばれる産地となり、市場シェアの拡大を獲得。

5. 政策手段

【生産】

①抹茶生産に適した優良品種への改植や有機栽培等の栽培方式の転換、省力化のための農業機械導入を支援する。また、品質管理に関する生産者向けのプログラムを実践していく。

【加工】

②てん茶・抹茶加工施設の整備を支援する。併せて、「かごしま抹茶」の加工技術向上のための研究開発や、品質管理体制の構築も支援する。

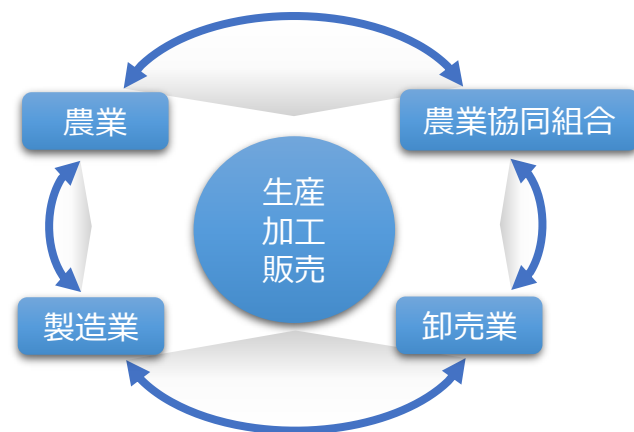
【販売】

③世界における抹茶市場の商流を構築するため、海外での国際見本市への出展や商談会の開催を支援し、海外バイヤー等とのマッチングを促進する。また、産地へのバイヤー招へい・商談、PR動画等を通じて「かごしま抹茶」の品質と価値を正確に伝える。

④高級志向の商品開発や、ホテルとの提携など、ハイエンド層に向けた販売促進を行う。

鹿児島県 茶関連産業分野における地域産業クラスター計画の概要

核となる区域・連携イメージ図



核となる事業者・取組

- ・鹿児島県経済農業協同組合連合会
- ・鹿児島製茶株式会社
- ・鹿児島堀口製茶有限会社
- ・薩額産業有限会社

ほか 計 98 者

【生産基盤強化】



てん茶等への転換等

【加工施設等整備】



抹茶粉碎施設の導入等

【販路開拓】



国際見本市出展等

核となる事業者等位置図

